

高知県安芸市で採集されたモンクチビルテントウ

辻 雄介¹

¹株式会社 相愛



写真1 *Platynaspis maculosa* Weise, 1910 モンクチビルテントウ

種の記録

Coccinellidae テントウムシ科

Platynaspis maculosa Weise, 1910

モンクチビルテントウ (写真1)

標本

採集年月日: 2022年11月4日. 採集場所: 高知県安芸市井ノ口乙 (33.538153N, 133.915307E). 採集方法: 見つけ採り. 採集数: 1 個体. 全長 2.5 mm. 標本保管: 個人所有.

種の特徴

斑紋は同属のヨツボシテントウ *Platynaspis lewisii* Crotch, 1874 に似るが, 2 対の黒紋が大きく横長である(阪本, 2018).

備考

本種の学名には従来 *Phymatosternus maculosa*

(Weise, 1910)が使用されていたが(鈴木, 2022), Slipinski and Tomaszewska (2002)によって, *Phymatosternus* 属は *Platynaspis* 属のシノニムとされたため, 本報ではこれに従った(なお, 属名が女性形であるため種小名も女性形に変更). モンクチビルテントウは中国・台湾・ベトナムに分布し, 国内では松原ほか(1998)によりモンマダラテントウの和名で記録された移入種であり, 現在では本州・九州・南西諸島に分布を広げている(阪本, 2018). 四国地方からの公式な記録は確認できず, 本報が初めての記録となる可能性がある.

林縁部の葉上で静止していた本種を採集した. 周辺を探索したが, 追加個体は得られなかった. 採集されたのは 1 個体のみであり, 今後は本種が県内に定着しているかを含め, 分布状況の調査を進めていきたい.

謝辞

種の同定にご助力いただいた青井光太郎氏に厚くお礼を申し上げます.

引用文献

松原 豊・上野輝久・佐々治寛之. 1998. 日本未記録のモンマダラテントウ沖縄本島に産す. 月刊むし, (332): 38.

阪本優介. 2018. テントウムシハンドブック. 文一総合出版, 東京, 88pp.

Slipinski A, Tomaszewska W. 2002. The genus *Crypticolus* Stohecker, 1953 -Redescription and transfer from Endomychidae to Coccinellidae (Coleoptera: Cucujoidea). Annales Zoologici, Warszawa, 52 (4): 493–497.

鈴木 茂. 2022. 日本列島の甲虫全種目録 (2022 年). <https://japanesebeetles.jimdofree.com/>. 2022 年 12 月 29 日閲覧.

(2022 年 12 月 30 日受付, 2023 年 1 月 5 日公開)

連絡先: 辻 雄介 (e-mail: y.tuji@soai-net.co.jp)

(Yusuke Tsuji. 2023. New record of *Platynaspis maculosa* Weise, 1910 (Coccinellidae) from Aki City, Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 23001)